

第5次和泉市総合計画(改訂版)(案)に対する意見一覧(新型コロナウイルス感染症関連を除く)

資料1-2

NO	委員	区分	頁	箇所	内容	事務局 対応方針
1	阿部(俊)委員	将来ビジョン	4	第2章第1節 市民意識の変遷(1) 市民の実感度 2. 市政の情報を十分に得ることができている	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度と比べて令和元年度ではそう思う・どちらかというと思う方が減っている。広報いずみや市のホームページを読まない人が増加しているのでは。</li> <li>回覧板の活用、和泉市にTV局を作って情報を流すことも検討してみたい。</li> <li>市役所以外郵便局・銀行・医院・駅・スーパー等TV画面の活用。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご指摘のとおり、情報発信手段が多様化しており、広報等を見ない方が増加していると考えます。</li> <li>ご提案いただいた手法については、重点施策35「和泉シティプロモーション事業の推進」等を検討する際の参考とさせていただきます。</li> </ul>
2	阿部(俊)委員	将来ビジョン	9	第2章第2節 (2)就業構造の特徴と変遷	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内事業所数が増加している中で建設業が減っているのが気になる。</li> <li>テクノステージ和泉はすべて埋まっており、これ以上事業所を増加させていくには近隣に用地を確保して更に募集をかけては。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業団地を新たに整備し、企業を誘致するためには、インフラ整備等が必要であり、相当のリスクがあるため、今後の検討課題とさせていただきます。</li> </ul>
3	阿部(俊)委員	将来ビジョン	13	第2章第4節 和泉市の人口推計	<ul style="list-style-type: none"> <li>特殊出生率令和2年1.6、令和22年2.07は達成できるのか。</li> <li>和泉市の人口を増やすためには、大和ハウス工業が実施しているように、出産祝金を1人100万円出せばよいと思います。和泉市内の事業者を通じて出せば一石二鳥の効果があります。大和ハウス工業の社員のお子さんは3人、5人と多いです。予算捻出のため、市有地売却と固定資産税獲得に取り組んではどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>合計特殊出生率については、現在、1.27(H30年度)と、下位推計の設定条件である1.37を下回っており、非常にハードルの高い目標だと認識しておりますが、現在の人口は、上位推計と下位推計の間で推移しており、引き続き、上位推計をめざして計画を推進してまいります。</li> <li>また、ご提案いただいた手法等については、事業推進の参考にさせていただきます。</li> </ul>
4	中野委員	将来ビジョン	13	第2章第4節 和泉市の人口推計	<p>人口推計の上位推計をめざして本総合計画を推進することとしており、計画の重大な指標の一つだと考えますが、そうであれば、住民基本台帳人口だけでなく、計画策定以降の「合計特殊出生率」や「社会動態」「20~29歳男女の転出率(年齢階級別社会動態)」についても記載する必要があるのではないのでしょうか。</p> <p>個人的な意見ですが、トリヴェールの開発状況や高齢化の一層の進行を勘案すると、上位推計を達成することは相当難しいのではないかと感じています。計画期間の半分近くが経過し、この間の社会動態や自然動態がどのように推移したかを知ることは今後の取組みを検証するうえで非常に重要と考えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご意見のとおり、「合計特殊出生率」、「社会動態」、「20~29歳 社会動態(推定値)」を記載します。</li> </ul> <p>修正箇所: 資料2 P13</p>
5	中野委員	将来ビジョン	14	第3章第1節 (3)人口の増加と利便性の高さがもたらす産業の集積	<p>タイトルの「(3)人口の増加と…」の人口とは交流人口のことでしょうか。この記載ですと常住人口も増加しているように誤解を招く恐れがあると考えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご意見のとおり、本項目における「人口」は、「交流人口」を指すものです。タイトルを修正します。</li> </ul> <p>修正箇所: 資料2 P14</p>

NO	委員	区分	頁	箇所	内容	事務局 対応方針
6	中野委員	将来ビジョン	15	第3章第2節 基本的な考え方	<p>基本的な考え方として、市内定住志向の向上と交流人口の拡大を挙げておられます。</p> <p>一般的に、人口政策を議論する際には、社会動態をプラスにするため、市内に住む人の定住志向の向上を図り、市外への転出を抑制することと併せて、市外に住む人の市内への転入を促進することも重要とされることが多いと思うのですが、和泉市の総合計画では、市外居住者の市内への転入促進について、ほとんど記載されていません。これは何故でしょうか。</p> <p>交流人口の拡大においても、昼間人口の増加と「市内交流」の増加による定住志向の向上が記載されているのみで、市外からの転入促進については触れていません。</p> <p>働く、学ぶ、観るなど、様々な交流の機会に市外にお住まいの方が初めて市内を訪れ、その機会をうまく活用して、和泉市の良さをアピールすることにより、市外からの転入を促進することは大変有効と考えます。</p>	<p>・市外からの転入を促進することも重要ですが、本市の課題としては、若い世代の流出が多く、その世代の定住志向を高める必要性が高いこと、また、市民の定住志向を向上させる取組みが、結果として市外からの転入促進にもつながることから、第一義的に、市内の定住志向を高めることに重きを置いたものです。しかしながら、転入促進も重要な要素であるため、各種施策を検討してまいります。</p>
7	阿部(俊)委員	将来ビジョン	17	第3章第4節 (1)既成市街地ゾーン	<p>・測量課を作って技師を雇用し、手数料を収入源としてドンドン地積確定すべし。建築主事を置く。</p> <p>・幅員4m以下の道路が多い。神戸淡路大震災クラスが和泉市で起きたなら延焼率が80%を超える。消防も救急車も現地に入れない。区画整理事業等対策を講じる必要あり。大阪府で地積が確定しているのは1%、東京10%その他の都市から見ても異常。霧島市では80%。また和泉市道でも底地が民有地の場合がある。不動産取引の妨げになる。</p>	<p>・幅員が概ね4m未満の道路については、狭あい道路拡幅整備制度を設け、市民のご理解・ご協力を得ながら、拡幅整備に取り組んでいるところです。</p> <p>・境界確定については、申請があった場合は、担当課にて、適宜境界確定の進めを進めています。</p> <p>・その他ご提案いただいた手法については、事業実施の際の参考とさせていただきます。</p>
8	辻林委員	将来ビジョン	17	第3章第4節 (1)既成市街地ゾーン	<p>土地利用構想では市内を6つのゾーンに区分し、より快適で利便性の高い都市形成を図るとして(1)既成市街地ゾーンの土地について触れています。</p> <p>細部のことで恐縮ですが、都市農業の多様な機能への評価と期待から、平成27年4月に新しく「都市農業振興基本法」が制定され、現在、大阪府をはじめ多くの自治体が都市農業振興計画を定めています。食の安全への意識の高まりや人口減少に伴う宅地需要の鎮静化など様々な状況もあって、これまでの「市街化区域内の農地は宅地化すべきもの」という位置付けから180度変わりました。そうした国の方針転換を踏まえた上位規定の記述にならないかと考えます。</p>	<p>・既成市街地ゾーンの土地利用は、住環境や産業用地としての活用が主となるため、都市農業に関する記載はしないことといたします。</p> <p>・しかし、市街化農地について、都市マスタープランでは、「農作物の生産の場であるとともに防災や自然とのふれあいの場などの面も重視し、都市における様々な機能を持つ緑のオープンスペースとして維持保全を図る」としており、都市農業振興基本法の基本理念である「都市農業の多様な機能の発揮」と同じ方向性です。</p> <p>現在の土地利用構想の中で、上記マスタープランに基づき、都市農業に関する施策を実施してまいります。</p>
9	山本委員	重点施策全体	24~	・施策の方針 ・具体的な取組み	<p>目標を達成した取組みを削除しなくてもよいのではないか。計画の達成状況を検証できるように、重点施策内でも目標が達成できたものが分かるようにしてはどうか。</p>	<p>・ご意見のとおり、重点施策内にも、計画の達成状況が分かる内容を掲載します。</p> <p>修正箇所：資料2 P32、42、47、53、58、84、85、86、89、90、107</p>
10	阿部(俊)委員	重点1章	32	重点施策01 (具体的な取組み) 出会いの場の創出	<p>・成婚実績は。</p> <p>・テレビ朝日にコンタクトを取り、「新婚さんいらっしゃい」に出演できれば、和泉市の宣伝になる。以前沼島での集団見合いが何度かあったが、よい宣伝になった。このような企画を仕掛けては。</p>	<p>・本市では、出会いの場の創出として、観光カップリングツアーを実施しておりますが、カップルの成婚実績については、把握できておりません。今後、成婚実績の把握に努めてまいります。</p> <p>・ご提案いただいた手法については、事業推進の参考とさせていただきます。</p>

NO	委員	区分	頁	箇所	内容	事務局 対応方針
11	阿部(俊)委員	重点1章	37	第1章第2節【現状と課題】 1. 高まる就学前教育の重要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五色百人一首の活用</li> <li>・NHK BK劇団の誘致</li> <li>・賢い子は幼き頃よりわかる。幼少期神童、大人になったら只の人という例外もあるが、小中一貫校に期待するが、有力な高校が必要。大阪教育大学附属小中高の例もある。誘致してみても、灘中高、大阪桐蔭のように優秀な校長をスカウトされては。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご提案いただいた手法については、事業推進の参考とさせていただきます。</li> </ul>
12	厚生文教委員会協議会	重点1章	37	第1章第2節【現状と課題】 3. 「豊かな心」の育成	<p>現行計画の「人間関係を形成する力や規範意識などに課題があり、あらゆる教育活動で自分や周りの人を大切にすることを育むため、小中の連携等に取り組む」から、「特別の教科道徳が、平成30年度から小学校で、令和元年度から中学校でスタートしたことを踏まえ・・・」と改訂されております。</p> <p>現行計画で示している課題が解消されたようにも見えますが、依然として課題は残っているように思います。</p> <p>また、「自分や周りの人を大切にすることを育む」といった具体的な表現もなくなっており、これらの記載は残すべきと考えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現行計画に示す課題については、平成20・21年の学習指導要領を改訂するにあたり、中央教育審議会から示された内容から引用したものです。</li> <li>・その後、平成30・令和元年に新学習指導要領が始まったことを踏まえ、新学習指導要領の内容に沿った改訂を行ったもので、より新しい社会情勢を踏まえた【現状と課題】にしたものです。</li> </ul>
13	厚生文教委員会協議会	重点1章	42	重点施策06(具体的な取組み) 学力向上に向けた教育・学習環境の充実	<p>「高い小中一貫教育の教育的効果が見込まれる中学校区において、施設一体型小中一貫校の整備に取り組みます。」との記載がありますが、この記載では、まるで施設一体型の小中一貫校は、教育的効果が高いので、市としてどんどん整備していくように受け取られます。市としては、地域の実情を踏まえて、施設一体型の小中一貫校を整備することとしていると思いますので、誤解のない表現にすべきと考えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫校の整備につきましては、地域の実情に応じた検討を踏まえ、実施していくもので、ご指摘の誤解はない表現にしているものと考えます。</li> </ul>
14	厚生文教委員会協議会	重点1章	42	重点施策06(具体的な取組み) 学力向上に向けた教育・学習環境の充実	<p>少人数学級は効果が高いため、市として推進していくことを追加していただきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数学級については、きめ細かい指導がしやすくなるなどメリットもあると考えますが、教員を増加する必要があり、厳しい財政状況の中、実現には高いハードルがあると考えます。少人数学級編制の必要性は認識するものであり、市立小中学校教職員の人員費は、本来、国及び大阪府が負担するものであり、安易に市が国・府の担うべき負担を肩代りすることのないよう慎重に検討していく必要があります。そのため、現時点では、総合計画には記載しないこととします。</li> </ul>
15	佐藤委員	重点1章	54	重点施策13(具体的な取組み) 公共交通を活用した高齢者の外出の促進	<p>説明内容が抽象的であり、高齢者おでかけ支援チケットの交付など、具体的な表現を記載してはどうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画は、将来ビジョンで示したまちづくりの基本方針に沿い、重点的に取り組む施策の方向性や取組みを示したものであり、事業の個別具体的な内容を盛り込むことは難しいと考えています。</li> </ul>

NO	委員	区分	頁	箇所	内容	事務局 対応方針
16	合田 委員	重点 1章	55	第1章第5節 【現状と課題】 3. 安全でゆとりのある 歩行空間の整備	以下の内容を追加してはどうか。 ・保育施設周辺の道路で、ドライバーらに園児への注意喚起など、重点的に対策を講じる「キッズゾーン」の整備が求められています。	・ご意見のとおり、未就学児が散歩等の園外活動で利用する経路に関する安全確保対策について、キッズゾーンの整備を含め、防護柵や車止めバリアの設置等を求められている現状を踏まえ、修正します。  修正箇所: 資料2 P55
17	佐藤 委員	重点 1章	56	第1章第5節 【現状と課題】 4. 求められる移動手段の 確保 グラフ <コミュニティバス 「めぐ〜る」利用者数の 推移>	平成26年より乗車料金が100円から160円にアップした。平成25年までの利用者は、145,000人～148,000人が利用しており、市の負担金・乗車料金ともに上昇したにもかかわらず、乗車人数の減少で、市の負担金が逆に増加しているため、平成23年からの利用者数も標記されてはどうか。	・ご意見のとおり、平成23年からの推移が分かりやすいよう、掲載します。  修正箇所: 資料2 P56
18	阿部 (俊) 委員	重点 1章	59	重点施策15 (具体的な取組み) 有効な土地利用と空家 対策の推進	・広報いずみに掲載し、空家相談会・不動産相談会を月2回行いニーズに応える。 ・不動産を寄付したいという人がおられれば、調査の上、可能であれば受け入れる。	・現在、市役所内で、2ヶ月に1回、空家相談会を実施しており、開催に際しては、広報いずみの他、市ホームページ等で周知を図っているところである。開催回数については、利用ニーズも踏まえ、検討してまいります。 ・調査の上、行政目的での活用が見込まれる不動産等の寄附は、受け入れを検討できますが、行政目的で使用する予定のないものは、受入れておりません。
19	大浦 委員	重点 1章	60	重点施策16 (具体的な取組み) 公共交通の利便性の 向上と利用促進	・コミュニティバスについて、南海バスに委託している関係上、南海バスのバス停と同じ場所にコミュニティバスのバス停を設定できないなど、地域住民のニーズに沿えていない現状があります。 ・このような現状を打開するため、コミュニティバスに代わる交通手段の確保策等を検討すべきだと考えます。	・コミュニティバスについては、和泉市地域公共交通網形成計画に基づき、路線バスとの役割分担について事業者と協議を行い、利用者ニーズに沿った運行ルート等の検討を進めていきます。 ・高齢者のくらしの移動手段の持続的な確保のためにも、他の自治体における状況も踏まえて、市の最適な公共交通のあり方について、検討してまいります。
20	阿部 (俊) 委員	重点 1章	64	重点施策18 ごみの減量化と再資源 化の推進	・市民に工場見学してもらって、この事業の大切さを理解してもらおう。	・現在、小学校の社会見学において、泉北クリーンセンターへの社会見学を実施しているところです。(R1実績 小学校4年14校) ・ご指摘の内容については、重点施策18「ごみの排出量削減・再資源化の推進」の中で取り組みます。



NO	委員	区分	頁	箇所	内容	事務局 対応方針
21	山中委員	重点2章	72	重点施策20 (具体的な取組み) ・空き店舗活用の支援 ・商店街活性化の支援	和泉府中駅前商店街(ロードインいずみ)については、快速電車が停車する駅前という好立地にも拘わらず「シャッター通り化」して久しい状況です。 商店街活性化の支援について、空き店舗の活用や大学との連携、イベントの開催等に加え、家賃全額補助や時限的な地方税免除等の大胆な支援により、集客力のある店舗の出店を目指すべきではないでしょうか。 改めての再開発も選択肢の一つに入れても良いと思います。	・現在、市内商店街における空き店舗を活用した場合の家賃補助や改装費補助、また、会社設立時の登録免許税の減免措置の適用を可能にするなど、新たな店舗の誘致を行っております。 ・個別の取組み内容については、重点施策20「空き店舗活用の支援」及び「商店街活性化の支援」の中で検討してまいります
22	辻林委員	重点2章	73	重点施策21 産業として成立する 農林業の確立	「都市農業振興基本法」の制定を受けて、例えば『都市農業の多様な機能に対する理解醸成』や『都市と緑・農の共生を目指す』と言ったニュアンスが加わればと考えます。	・都市農業振興基本法の趣旨を踏まえ、資料2 69ページ「現状と課題 3. 農林業をとりまく環境」のとおり、農地や林地が有する多面的な機能を市民に認識いただく必要があると考えており、「都市と農の共生を図る必要がある」の文言を追加するとともに、重点施策21において各種施策を実施してまいります。 ・「都市農業の多様な機能」の1つである防災機能については、重点施策30「災害に強い環境づくりの整備」の中に記載しているのとおり、防災農地の活用に取り組んでまいります。  修正箇所: 資料2 P69
23	阿部(俊)委員	重点2章	73	重点施策21 産業として成立する 農林業の確立	・儲かるなら人はなびく ・岡山県農業試験場は研究が進んでいるので参考にされては。 ・岡山県では種子の凍結法を使って熱帯の作物を国内でも作れるようになった。「(皮ごと食べれるバナナ)」「コーヒー豆の栽培」「パインの栽培」「ペッパーの栽培」等々)	・ご提案いただいた手法については、事業推進の参考とさせていただきます。
24	大浦委員	重点2章	73	重点施策21 産業として成立する 農林業の確立	・和泉市内には、子育て世代が半日程度の短時間遊ぶことができる施設がないため、子どもが遊べるフィールドアスレチックのようなものを設置し、誘客を図ることで南部リージョンセンターの物販の活性化にもつながると考えます。	・施設改修等に向けた設計業務委託を行っているところであり、現在、イベントでの活用や臨時駐車場として活用している多目的広場について、その半分程度の面積を活用し、人工芝を敷き、遊具なども設置することで、子どもたちが安全に自由に遊べる空間を設ける予定です。
25	厚生文教委員会協議会	重点2章	74	重点施策22 (具体的な取組み) 安定した雇用の創出 と次代の担い手の育成	改定案に「市内企業に就業する若者に対して奨学金返還の支援を行うなど、市内企業の人材確保に向けた取組みを推進します。」と追加しておりますが、奨学金の返還に対する支援だけでなく、給付型の奨学金制度の設立に取り組んでいただきたいと考えます。 国では、非課税世帯に対して給付型の支援を行う予定であると聞いておりますが、市として、市内企業に就業する大学生に向けた給付型の奨学金制度の設立が必要だと考えます。	・経済的に困難な学生を支援するため、独立行政法人日本学生支援機構が実施する給付型奨学金制度について、令和2年4月から対象者や給付額の拡充が図られたところです。 ・また、桃山学院大学を含む各大学では独自の支援制度を持っております。 ・本市が実施している奨学金返還支援制度についても、平成30年にスタートしたところであり、市独自の給付型奨学金制度については、今後の事業推進の参考とさせていただきます。

NO	委員	区分	頁	箇所	内容	事務局 対応方針
26	阿部(俊)委員	重点2章	77	重点施策23 地域資源を活用した観光産業の振興	・石尾中学校にある初代国学者契沖の碑。契沖は和泉市で国学の基礎となる『万葉代匠記』を執筆した。和泉市発展に寄与した久保宗右衛門氏を顕彰。	・国学発祥の地として和泉市をPRLし、来訪促進につなげることは有意義であると認識しており、地域の皆様から要望等があった場合は、何らかの協力してまいりたいと考えています。 ・その他、ご提案いただいた内容については、事業推進の参考とさせていただきます。
27	井上委員	重点2章	77	重点施策23 (施策の方針) 1つ目の◎	「本市の特性を活かした『和泉の観光スタイル』を図るとともに、…」とあり、歴史的なもの、エリアを絞り込んだのは評価できる場所であるが、現実問題として食が一番の観光誘客のフックになる。 上記の方針を活かしつつだが、アクションプラン作成の際には意識をした方が良いのではないかと。	・委員ご指摘のとおり、次期アクションプランの策定の際に留意するとともに、重点施策23「地場産業との連携による来訪の促進」の中で、意識して取り組んでまいります。
28	井上委員	重点2章	77	重点施策23 (具体的な取組み) 地場産業との連携による来訪の促進	「市が持つ観光資源となりうるものを最大限に活用し、より戦略的で効果的な来訪、誘客の取り組み…」とあるが、そもそも認知されていないことが一番の課題である。	・ご指摘のとおり、認知度の向上が重要な課題であると認識しております。 ・市ホームページやSNS等を活用し、積極的な情報発信に取り組んでまいります。
29	山中委員	重点2章	77	重点施策23 (具体的な取組み) 外国人観光客の受入れ体制の強化	SNSでの魅力発信が外国人には最も効率的且つ効果的だと思います。 発信ツールとして積極的に活用した施策展開が必要ではないでしょうか。 また、大阪万博やIR等、外国人観光客の増加が見込めるなか、本市は大阪市内と関空の途上に位置します。この地理的アドバンテージを活かした、名物スポット、名物イベント、名物品、名物食等を創造する施策があっても良いと思います。(いわゆる“インスタ映え”を狙う)	・委員ご指摘のとおり、SNSは重要な魅力発信ツールであると認識しています。個別の取組み内容については、重点施策35「和泉シティプロモーション事業の推進」の中で、検討してまいります。
30	井上委員	重点2章	78	重点施策24 (施策の方針) 2つ目の◎	「まちのブランドイメージを積極的に発信し、ブランド化を図ります。」とあるが、取り組み内容自体は環境整備のことが中心で、情報発信が弱いと思われる。	・ご指摘のとおり、情報発信に課題があると認識しております。 ・市ホームページやSNS等を活用し、積極的な情報発信に取り組んでまいります。
31	阿部(俊)委員	重点3章	81	第3章第1節 【現状と課題】 1. 地域医療の充実強化の必要性	・名医を集める。 ・和泉市には名医がおられる。和泉市総合医療センター泌尿器科の玉井健太郎医師、白内障手術の権威裴眼科、その他	・ご提案いただいた手法については、事業推進の参考とさせていただきます。
32	阿部(俊)委員	重点3章	82	第3章第1節 【現状と課題】 3. 求められる防犯環境の向上・整備	・防犯対策→安心安全な街づくり ・資金は自治会、老人クラブの余剰金で ・犯罪地図を公開し、市民に用心喚起を促す。443台のカメラ設置を含めてその設置地図を作製、足りないところに防犯カメラを新規に取り付ける。熊取町の吉川友梨ちゃん事件は北朝鮮に拉致されたかも知れないとのこと。	・犯罪地図の公開については、重点施策27「連携による防犯体制の充実」に、大阪府警が公表している「犯罪発生マップ」を活用する旨、記載します。 ・防犯カメラの設置については、警察や地元町会等と調整を図りつつ、市設置型のカメラの増設について、検討します。

NO	委員	区分	頁	箇所	内容	事務局 対応方針
33	阿部(俊)委員	重点3章	89	重点施策28 地域における防災体制の強化	・消防・救急車がスムーズに入れるように幅員4m以下の道路をなくす。区画整理事業を行う。都市計画道路の進展。	・幅員4m未満の道路については、No.6に記載のとおりです。 ・都市計画道路については、重点施策15「道路交通網の整備・充実」に記載しています。
34	阿部(俊)委員	重点4章	95	第4章第1節 【現状と課題】 3. 空家等の利活用促進の必要性	幅員4m以下の道路をなくすことや区画整理事業の実施、都市計画道路の進展に関連して、金沢市のように避難広場を造る。 ・井戸端相談場所の提供。	・幅員4m未満の道路については、No.7に記載のとおりです。 ・災害時の避難場所としては、重点施策14「多機能な公園整備推進」等で取り組んでいます。
35	佐藤委員	重点4章	96	重点施策31 (具体的な取組み) 市民交流の促進	「民生委員・児童委員」のあとに、「ボランティア」を追記してはどうか。	・ご意見のとおり、「ボランティア」の文言を追加します。 修正箇所：資料2 P96
36	阿部(俊)委員	重点5章	104	第5章第1節 【現状と課題】 2. 健全な財政運営の推進	・収入増のため、市有地の売却、耕作放棄地を市有地にして売却、灘中のな学校を誘致して高所得者を集める。	・ご提案いただいた手法については、健全な財政運営のための参考とさせていただきます。
37	辻本委員	重点5章	107	重点施策35 (具体的な取組み) 和泉シティプロモーション事業の推進 2つ目の○	情報発信が今回の課題だとしているが、「どのような情報をどのような方法で」を、具体的に示さなくてもよいか。	・情報発信の取組みについては、重点施策35「和泉シティプロモーション事業の推進」のほか、各重点施策に位置づけています。 ・重点施策25「感染症対策の強化」に、新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた「新しい生活様式」等の感染防止対策の周知について、新たに位置づけます。 ・また、重点施策28「災害情報伝達力の強化」に、災害情報の伝達手段として「防災無線」を追加します。 ・重点施策35「和泉シティプロモーション事業の推進」については、広報、市ホームページ、いずみメールやSNSなど、様々な情報媒体を効果的に活用した市政情報の発信力強化について、記載します。 修正箇所：資料2 P84、89、107
38	阿部(俊)委員	重点5章	107	重点施策35 (具体的な取組み) 和泉シティプロモーション事業の推進	和泉市の宣伝を霧島市のように効率的にする。朝ドラ、大河ドラマを誘致。映画の撮影現場提供。審議会委員に学生を登用。和泉市出身の有名人発掘。ミスなどでこコンテストを誘致。	・ご提案いただいた手法については、重点施策35「和泉シティプロモーション事業の推進」等を検討する際の参考とさせていただきます。